

スコラ★タイムヒル <<講師の先生～ご紹介>>

講師名	ご略歴	主要著訳書	
日下部 吉信 先生  【講義日】 9月11日(火) 9月18日(火) 9月25日(火) 10月2日(火)	立命館大学大学院文学研究科 博士課程修了 博士（文学） 立命館大学助教授、教授、特任教授 ケルン大学・トマス研究所客員研究員 オックスフォード大学 オリエル・カレッジ客員研究員 現在、立命館大学名誉教授	単著	『西洋古代哲学史』（昭和堂 1981年）
		単著	『ギリシア哲学と主観性』（法政大学出版局 2005年）
		単著	『初期ギリシア哲学講義・8講』（晃洋書房 2012年）
		単著	『プラトン講義・4講』（晃洋書房 2012年）
		単著	『アリストテレス講義・6講』（晃洋書房 2012年）
		単著	『ヘレニズム哲学講義』（晃洋書房 2013年）
		単著	『ハイデガーと西洋形而上学』（晃洋書房 2015年）
		翻訳	A.トレンドレンブルク『カатегор一論史』（松嶺社 1985年）
		翻訳	K.ボルマン『パルメニデス—断片の研究—』（法政大学出版局 1992年）
		編訳	『初期ギリシア自然哲学者断片集』①②③（筑摩書房・ちくま学芸文庫）
		翻訳	E.ハッセイ『プレソクラティクス』（法政大学出版局 2010年）
小川 侃 先生  【講義日】 9月13日(木) 9月20日(木) 9月27日(木) 10月5日(木)	京都大学大学院文学研究科 博士課程修了 博士（文学） 京都大学大学院地球環境学堂、 および人間・環境学研究科両任教授 人間環境大学学長 甲子園大学学長 ケルン大学客員研究員 ドイツ連邦共和国 アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学生研究員 イタリア哲学研究所（ナポリ）客員教授 カールスルーエ大学教授資格試験審査官 現在、ヒルデスハイム大学客員教授、 豊田工業大学非常勤講師	単著	『現象のロゴス 構造論的現象学の試み』（勁草書房 1986年）
		単著	『現象学と文化人類学 文化的多元論を越えて』（世界書院 1989年）
		単著	『現象学と構造主義 対決と調和』（世界書院 1990年）
		単著	『自由への構造 現象学の視点からのヨーロッパの政治哲学の歴史』（理想社 1996年）
		単著	『風の現象学と霧囲気』（晃洋書房 2000年）
		単著	『Grund und Grenze des Bewusstseins』（Koenigshausen und Neumann 2001）
		単著	『Machiavelli e La Fenomenologia』（Napoli 2003）
		単著	『環境と身の現象学 環境哲学入門』（晃洋書房 2004）
		単著	『Essen und Wissen, Muenchen』（Iudicium Verlag 2008）
		単著	『ニッコロ・マキアヴェッリと現象学～彼の汚名をすすぐ～』（晃洋書房 2015年）
		共著	『世界・地平・霧囲気 構造存在論と「新しい現象学」の視点からの研究』（多賀出版 1997年）
		共著	『新現象学運動』（梶谷真司共編）（世界書院 1999年）
		共著	『生命と環境』（津田謙輔共編）（京都大学学術出版会 2000年）
		共著	『霧囲気と集合心性』（京都大学学術出版会 2001年）
		共著	『京都学派の遺産－生と死と環境』（晃洋書房 2008年）
		翻訳	『現代哲学の根本問題 第8巻』（新田義弘共編）（晃洋書房 1978年）
		翻訳	『身体と感情の現象学』（ヘルマン・シュミット）（産業図書 1986年）
		翻訳	『現象学の最前線 古代ギリシア哲学・政治・世界と文化』（クラウス・ヘルト）（晃洋書房 1994年）
		翻訳	『Interkulturelle Philosophie und Phaenomenologie in Japan, hrsg. von Tadashi Ogawa, Michael Lazarin und Guido Rappé, Muenchen』（Iudicium Verlag 1998）
森 孝夫 先生  【講義日】 9月19日(水) 9月26日(水) 10月3日(火)	東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程修了 博士（文学） 防衛大学校人間文化学科専任講師、准教授 ミュンヘン大学客員研究員 現在、防衛大学校人間文化学科教授	単著	『存在と共同——ハイデガー哲学の構造と展開』（法政大学出版局 2007年）
		単著	『ハイデガー『存在と時間』入門』（講談社現代新書 2017年）
		共著	『ハイデガーの技術論』（加藤尚武編）（理想社、2003年）
		共著	『Heidegger und das ostasiatische Denken, Heidegger-Jahrbuch 7』（Verlag Karl Alber 2013）
		共著	『Kitarō Nishida in der Philosophie des 20. Jahrhunderts, hrsg. von Rolf Elberfeld, Yoko Arisaka』（Verlag Karl Alber 2014）
		共著	『ハイデガー読本』（秋富、安部、古莊、森編）（法政大学出版局 2014年）
		共著	『Hermeneutik der Schwarzen Hefte, Heidegger-Jahrbuch 11』（Verlag Karl Alber 2017）
		翻訳	『世界内存在—『存在と時間』における日常性の解釈学』（門脇俊介監訳）（産業図書 2000年）